

セッション名：教育講座1：研修医，臨床検査技師，看護師対象
セッションタイトル：コメディカルに伝えたい心電図判読のコツ

座長：井上 博（富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二）
池田 隆徳（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）

循環器診療において，心電図は欠くことのできない検査である．循環器医は当然のことながら，循環器診療にたずさわるとコメディカルにおいても，正確に読むことができれば診療の幅が大きく広がる．しかし，この心電図の判読を得意にしているコメディカルは少ないのが現状である．心電図にはバリエーションがたくさんあり，正常と異常の境界があいまいなことが心電図の理解を難しくする原因のひとつかもしれない．それを克服するには，疾患あるいは不整脈のもっとも特徴的な所見を，確実におさえることが重要だと考える．

近年，予期せぬ心臓突然死あるいは致死性不整脈を予知する指標がいくつか考案され，実臨床においても活用されるようになった．それぞれの指標の意味合いや計測法などについて，コメディカルの間でも議論されるようになっている．

そこで今回，「コメディカルに伝えたい心電図判読のコツ」と題して，この領域に造詣が深く，かつ話し上手な3人の先生方をお招きし，講演いただくことにした．

高橋尚彦先生には，健診時の12誘導心電図で見逃してはならない所見，特に遺伝性不整脈症候群の心電図の見方について，わかりやすく解説していただく予定である．次に，樗木晶子先生には，ホルター心電図における頻脈性不整脈および徐脈性不整脈を判読するうえでのポイントについて，明快に解説していただく予定である．最後に池田隆徳先生には，心臓突然死をきたす危険な不整脈について，頻脈性不整脈，徐脈性不整脈，伝導障害などに分けて，従来とは異なった切り口で解説していただく予定である．

臨床検査技師，看護師，薬剤師のみならず，心電図の判読を苦手になっている若手医師にも聴講を是非おすすめしたい．